学校番号	1015

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	わたしたちの地理総合　世界から日本へ(山川出版)、基本地図帳(山川出版)						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理は「自然地理」および「人文地理」からなります。自然環境としての地理を学び、経済、文化など人文地理を学んで、身近なところから世界各地についてまで、「地理的考察」を加えられるように学習をすすめる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地図に親しみ、利用できるようになる。自然環境などの地域性を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察する。
【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して,世界の生活文化の多様性や,防災,地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて,調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義,特色や相互の関連を,位置や分布,場所,人間と自然環境との相互依存関係,空間的相互依存作用,地域などに着目して,概念などを活用して多面的・多角的に考察したり,地理的な課題の解決に向けて構想する力や,考察,構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及,解決しようとする態度を養うとともに,多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚,我が国の国土に対する愛情,世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするたることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章　地図とGISの活用	1節　球面上の世界 1, 2 球面上での生活 3　世界地図でとらえる地球	a:地球を球面として捉え, 球面上の位置・方位・距離について正しく認識し, 季節・気候を生み出すことを理解している。時差のしくみを理解し, 世界の2 地点間の時差を求めることができる。 c:時差が日常生活や経済活動に与える影響を自ら調べようとしている。	確認テスト 定期考査		ワークシート
		2節　国家の領域と領土問題 1　国家の領域と海洋の役割 2　日本の位置と領土問題	a:国家の領域に関する知識を身につけ, 海洋の役割, 領土問題について理解している。 b:日本の位置と領域について世界的視野から捉え, 日本の領域をめぐる問題を考察し, まとめることができる。	確認テスト 定期考査	作図 定期考査	
		3節　国内や国家間の結びつき 1　国家を超えた結びつき 2　観光による結びつき 3　交通・通信による結びつき 4　貿易・物流による結びつき	a:外国で暮らす日本人や歴史的背景を通して, 外国との結びつきの特徴や変化を捉え, 日本と世界各国の結びつきを理解している。 c:国内や国家間のつながりに影響する事象について, 自ら視点を設定して, 多面的に考察しようとしている。	確認テスト 定期考査		ワークシート
		4節　日常生活のさまざまな地図 1　身の回りにあるさまざまな地図 2　地理情報システムのしくみと使い方	b:さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し, 使用目的に応じて適切に表現している。 c:身の回りのさまざまな地図に興味を持ち, 積極的に活用しようとしている。地理情報の活用事例について, 自ら調べることができる。		読図・作図 定期考査	ワークシート 発表
	2章　生活文化の多様性と国際理解	1節　自然環境と生活文化 1　地球上の地形のなりたち 2,3　山地と平野/海岸部の生活 4　地球上の気候のなりたち 5　暑い気候　アフリカ 6　乾燥した気候　サウジアラビア・モンゴル 7　季節の違い　大陸の西岸と東岸 8　寒冷な気候　シベリア	b:ケッペンの気候区分から各気候分布の規則性を捉え, 生活文化との関連性を比較しながら共通点や相違点を考察し、整理して表現することができる。地形を活かした人々の暮らしの特徴について写真や地形図などから捉え, 地形と生活文化の関連を考察できる。 c:地形を活かした人々の暮らしの学習を通して, 我が国の国土に関する諸課題を自分事として捉え, 主体的に学ぼうとしている。		作図・読図 定期考査	ワークシート 発表

		2節　産業の発展と生活文化 1　農業の地域性 2　農業南アジア 3　工業の地域性 4,5　経済成長　中国 6,7　工業化　タイ･ベトナム	a:世界の産業の特徴を捉え､分布や変化を概観することができる。 b:世界の産業の特徴を地域ごとに比較し,自然環境や生活文化との関連性を考察している。	定期考査	読図 定期考査	
2学期		3節　言語･宗教と生活文化 1　世界の言語 2　世界の宗教 3　仏教圏の生活文化 4　キリスト教圏の生活文化 5,6　イスラーム教圏の生活文化 7　世界の多民族･多文化社会 8　社会の形成　ラテンアメリカ 9　多文化社会　オーストラリア	a:　世界の言語･宗教の特徴を理解し,生活文化との関係を読み取ることができる。世界の多様性と日本のつながりを考え,異文化を尊重する態度が重要であることを理解できる。 c:多文化共生社会の実現方法について日本との関わりも考えながら主体的に捉え,議論し,自分の意見をまとめている。	確認テスト 定期考査		ﾜｰｸｼｰﾄ 発表
		4節　グローバル化の進展と生活文化 1～3　地域統合　EU 4～6　グローバル化　アメリカ	a:地域統合やグローバル化による成長と課題,生活文化の変容について,主題図や写真などの資料から読み取ることができる。 b:地域統合やグローバル化について,主題図や写真などの複数の資料を関連させて多面的に考察している。	確認テスト 定期考査	読図 定期考査	
	3章　地球的課題と国際協力	1節　人口･食料問題 1　世界の人口問題 2　人口増加　中国とインド 3　人口停滞　スウェーデンと日本 4　世界の食料問題 5　人口増加と食料問題　アフリカ	b:飢餓や飢饉がある一方,食品ロスなどの飽食も存在している問題を構造的に捉え,SDGs の目標をふまえて世界的視野から対策を考察することができる。世界各国の人口政策から日本を相対化し,日本の将来像を構想し,発表できる。 c:人口にかかわる世界の諸問題について,その背景や構造を捉え,主体的に考察できる。食料問題が世界規模でつながる地球的課題であることを捉え,国際社会の一員として意欲的に取り組もうとしている。		読図 定期考査	ﾜｰｸｼｰﾄ 発表

		2節　居住･都市問題 1　世界の居住･都市問題 2　大都市　ロンドン･ニューヨーク 3　密集都市　メキシコシティ･ジャカルタ	a:途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを,主題図や写真などから判読でき,都市問題を解決するための都市政策の例を調べ,整理できる。 c:途上国や先進国の都市問題を事例として挙げて,先進的な都市政策を参考にしながら,主体的に課題解決策を構想している。	確認テスト 定期考査		ワークシート 発表
		3節　資源･エネルギー問題 1　世界の資源･エネルギー 2　エネルギー資源の生産･消費と課題 3　再生可能なエネルギーへの移行 4　鉱産資源　ロシア･オーストラリア･日本	a:エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し,主題図や統計資料をもとに,鉱山資源の偏在性,有限性,消費における地域格差などの諸課題を読み取ることができる。 b:エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するため,化石燃料や再生可能エネルギーのメリット･デメリットを比較し考察できる。	確認テスト 定期考査	読図 ワークシート	
3 学 期		4節　地球環境問題 1　地球温暖化の現状と将来 2　熱帯林の減少　アマゾン･東南アジア 3　砂漠化の進行　アラル海	a:地球温暖化･熱帯林減少･砂漠化など,地球規模でおこっている環境問題のしくみを構造的に理解できる。 c:環境問題の構造や原因の理解とともに,地球市民の一人として,それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に学び,自分のできることを探求しようとしている。	確認テスト 定期考査		ワークシート 発表
	4章　生活圏の諸課題	1節　自然環境と防災 1　日本の地形･気候と生活 2～4　風水害/火山/地震･津波と防災 5　都市型災害と防災 6　防砂･減災への心構え	a:日本列島では,自然による恩恵だけでなく,風水害,火山,地震,津波,都市型災害などが発生することを捉え,自分の生活圏における防災や減災の取り組みについて,新旧地形図やハザードマップなどを読み取る技能を身につけている。 b:日本列島における自然災害の要因と特徴,地域性を考察し,課題の所在について考察し,自らの生活圏の防災や減災について,新旧地形図やハザードマップなどを活用しながら具体的な課題と避難行動を構想することができる。 c:日本の自然環境と災害の特徴とつながりについて当事者として関心をもち,防災意識を高めることができる。	確認テスト 定期考査	作図 定期考査	ワークシート 発表

		2節　持続可能な地域づくり 1　地域調査の実施手順と方法 2~4　地域調査　軽井沢	a:生活圏の課題を解決するための手法としての地域調査を実施し,身近な地域の魅力やかかえている課題を発見している。 c:プレゼンテーションソフトなどを用いて,地域の課題解決のための構想案を工夫して発表している。	確認テス		ﾜｰｸｼｰﾄ 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度